

## 私とシエリ

五年 稲垣香乃

名前はシエリ。

私がかつている犬の名前。

シエリは、フランス語で、愛しい人、大切な人という意味。

犬をкаいたたいと言ひ出したのは私。

お父さんとお母さんは反対していたけど、なやんでくれていた。何度も何度もお願いをして、たくさん約束事をして、ついにかつてもらえることになった。

家族で、どの犬にしようかと考えている時、私の大好きなおじいちゃんがなくなった。家族みんなが悲しくてさみしくて、おじいちゃんのことを思つてなみだが止まらないころ、さがしていた所で希望していた犬が見つかった。お母さんは、おじいちゃんの代わりに来てくれたんだよと言つて、犬に会いに行った。まだ生後一ヶ月だった子犬は、ヨチヨチ歩き回りながら私のひざの上に登つてねてしまった。私は、「この子がいい。」と思つた。

そして六月、愛しい大切なおじいちゃんの代わりに、シエリが私の家にやつて来た。

シエリは、おむかえした時からなつっこくて、とてもかわいかった。お友達があそびに来てもだれにでもヘソ天になった。でも、さみしいのか、夜中じゅうクンクン泣き続けた日もあった。

おむかえした次の日、シエリの便に血がまざっていた。病院に行つたら、おなかの中に虫がいっぱいいた。その日から、今もまだなおらなくて病院に通つている。でも元氣はいっぱい。

かう前にお父さんと約束した事、朝早く起きて、エサと水やり、トイレシートの交かん、あそんであげること。絶対やると思つていたけど、だんだん起きるのがおそくなって、全部お母さんにやつてもらう日もある。「やらなくちゃ。」と思つけど、朝はねむい。でも、思つていたよりおせわはとても大変。お母さんありがとう。シエリごめんね。

私が学校に行つている間も、お母さんにまかせきりだから、これからはもつと私がおせわできるようにがんばろうと思つう。  
おじいちゃんを思い出して悲しくなることもあるけど、シエリがいてくれて、私も家族もえがおになる。

早くおなかもおつて、すずしくなつたらおさんぽに行こうね。いろんな所に行つて、いろんなことしてあそぼうね。

ずつとずつと大切にするよ。